

4年間総まとめ

6

住みよい住環境を守るために…

さいたま市のまちづくりの中心となるべき浦和エリアのまちづくりの将来像の策定は必須。
魅力あふれる住環境を守るため、1つ1つ着実に実現していきます。

【実現！】プレイパーク（冒険はらっぱ）の常設



子ども家庭総合センター
冒険はらっぱプレイパーク

前任期から会派としても推進してきた常設のプレイパークが子ども家庭総合センターにおいて実現。今後も、移動式のプレイパーク事業や、より自由な公園の活用の在り方を検討していきたい。

【実現！】針ヶ谷1丁目公園安全対策



段差があるうえに、柵がないために子どもたちが遊ぶ環境としては危険な状況であったものを改善。

【実現！】調公園トイレ改修・洋式化



親子連れの利用者、特に子どもたち近隣の保育園児の利用も多く、イベントなども開催されるために要望が多かった洋式化工事が進行中。

【前進！】浦和のまちづくりビジョンの策定

さいたま市のまちづくりの根幹をなす2都心4副都心に位置しながら、浦和にはまちづくりの将来ビジョンがなかった。浦和のまちづくりの将来像を構築する作業がようやく始まった。
(平成30年12月一般質問答弁)

こやなぎ

小柳よしふみ

小柳よしふみ

検索

市政レポート
2019.3 ver.34小柳よしふみ 事務所 〒330-0055 さいたま市浦和区東高砂町23-19-2F TEL: 048-799-3232 FAX: 048-799-3233
E-mail info@koyanagi.jp ホームページ <http://koyanagi.jp/> ブログ <http://ameblo.jp/y-koyanagi/>

2015.4～2019.3

代表・一般質問

委員会質問

質問総数

小柳よしふみの活動記録！

4回

16回

148問

皆さまの想いととも

走り抜けた4年間

さいたま市議会議員としての小柳よしふみの2期目の任期も、あと僅かとなってまいりました。皆さまの声、自分の信念に忠実に走り抜けた4年間であったと感じております。充実した時間を過ごすことが出来たことに、心より感謝申し上げます。

この間、さいたま市は政令市15周年を迎え、人口も130万人を超えるなど成長を続けております。そんな中、県都である浦和のまちづくりをどのように進めてゆくのかは、さいたま市の将来にとって大変重要なことであります。浦和が光れば、さいたまが輝きます。文教都市浦和の特徴を生かした魅力ある生活都市、活力あるまちとしての成長が、さいたま市の発展につながります。

また、私が市議会議員として活動を始めた2011年は、東日本大震災が起こった年でした。被災後駆け付けた時の現地の姿は、今でも忘れることができません。いつ起こるのか分からない自然災害から市民の命を守ることは、課せられた使命であると考えて活動してまいりました。

皆さまの声とともに全力で走り続けた4年間の活動を、ここにまとめてみました。4年間、計16定例会の中で、本会議での代表・一般質問4回、委員会質問は16回、総計148問と、積極的に議会質問に取り組みました。また、地域の課題にも地道に取り組んでまいりました。

このように多くの機会を得て活動できましたのも、たくさんの皆さまからのお声やお支えがあったからです。改めまして、心より御礼申し上げますとともに、謹んで活動のご報告をさせていただきます。

- 昭和40年(1965年)8月27日生まれ A型
- 浦和市立高砂小、岸中、県立浦和高、慶應義塾大学商学部卒業。
- 埼玉銀行を経て、警備会社を経営。平成23年よりさいたま市議会議員(浦和区)。
- 平成27年 浦和区にて第1位当選(2期目)。
- 文教委員会 / 決算特別委員会
オリンピック・パラリンピック競技大会
支援特別委員会

2期目の4年間も
お世話になりました。
これからも頑張ります！



これから

地域の皆さまとともに、歩みます！

小柳よしふみ地域活動 2015.4～2019.3



浦和区防災アドバイザー協議会

防災士として参加し、地域の防災活動をお手伝い。



認知症サポーターに認定

認知症の方、ご家族の立場に立って考えることが重要です。



ごみゼロ運動

地域の地域による清掃活動が、安心・安全なまちづくりにつながっています。



地域の餅つき

毎年あちこち楽しく参加し、少しずつ上手くなっている気がします。



ガン撲滅運動(リレー・フォー・ライフ)

ガン撲滅、患者やご家族の支援活動に、毎年参加しています。



女子サッカー大会を継続支援

サッカーのまち浦和ですが、女子サッカーの振興には支援が必要です。



西日本豪雨災害への支援ボランティア

被災地の現状を目の当たりにし、復興の支援と防災の重要性を再認識。



夏祭り・お神輿

みんなで盛り上がり、地域のコミュニティづくりにもなります。

4年間総まとめ

1

地域の安全のために…

安心・安全なまちづくりは、地域の皆さまの力の結集があって実現できています。これからも、皆さまの声を形にしていきます。



防災倉庫の設置
(針ヶ谷3丁目)



郵便ポストの設置
(前地プラウドシティ)



通学路の安全対策
(前地・東高砂町)



道路の環境整備
(高砂1丁目)



街路灯のLED化
(領家)



「後援会イベントでハイ、チーズ！」

市政へのご要望・ご質問は

小柳よしふみ

事務所

E-mail info@koyanagi.jpホームページ <http://koyanagi.jp/>ブログ <http://ameblo.jp/y-koyanagi/>

〒330-0055 さいたま市浦和区東高砂町23-19-2F

TEL: 048-799-3232 FAX: 048-799-3233

1F「理容うらわ」の2F
小柳よしふみ事務所

武蔵野銀行

トヨタレンタリース埼玉

私は実績で勝負する。これまでも、これからも。

小柳よしふみは、この4年間で多くの政策課題に取り組み、成果をあげてきました。これからも皆さんの声を市政へ届け、より暮らしやすいさいたま市をつくります。

4年間総まとめ

2

子どもたちのために…

子どもたち、子育て世代が輝くまちは、明るく活気のあるまちになります。
頑張っている現役世代こそ、まず最初に幸せを実感して欲しいと願っています。



前進！

高砂小学校 教室の増設

生徒数の増加が続いている浦和地区の中でも、高砂小学校においては特別支援学級もない状況であり、教室不足が指摘されていた。校舎が増設されます。(平成32年度当初予算案。平成33年度春から供用開始予定。)



実現！

24時間いじめ相談ダイヤルの フリーダイヤル化

いじめに悩んだ子どもたちが電話すると最初に料金案内が流れるという悲しい状況であったが、フリーダイヤル化により安心して相談できるようになった。現在は、LINEによる相談も始まっている。

実現！

小規模保育事業所支援の 連携コーディネーター制度創設

小規模保育事業所の運営においては、卒園児である3歳児の受け皿となる連携保育施設の確保が課題であった。
連携コーディネーターがサポートを行うことになる。(平成30年12月一般質問答弁)



4年間総まとめ

3

福祉の充実のために…

高齢者が生き生きと活動し、障がい者が安心して暮らせるまちは、誰もが住みよいまちとなります。

前進！

福祉避難所の 民間施設への拡充

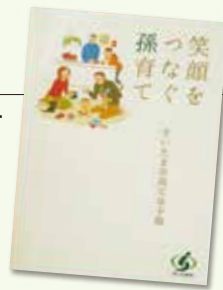
高齢者や障がい者は、災害弱者となりやすい。現在、特養、老健、介護施設などに限定されている福祉避難所をサービス付き高齢者住宅など民間へも担い手を拡充する取り組みを行ってきた。

➡ 福祉避難所運営マニュアルを整備し、拡充を検討中。

前進！

3世代での 子育ての推進

施設を整備し入所する以外の子育ての担い手づくりを提案してきた。今般、「さいたま市祖父母手帳」が全国的な話題となる大ヒットとなった。祖父母が現代の育児法を学んだり、子育ての担い手になるきっかけとなっている。(さいたま市祖父母手帳)



実現！

精神障がい者 電話相談窓口の設置

これまで身体、知的の障がい者のみを対象として実施されてきた電話相談について、精神障がい者を対象とした、電話相談が開始された。精神障がい者家族会のご協力により実現。

4年間総まとめ

4

防災対策のために…

誰もが安心して暮らせるまちづくりには、近年増加している災害への備えが必須と考えます。
防災対策にもさまざまな観点で積極的に取り組んできました。



実現！

民間ブロック塀の 改修補助制度

大阪北部地震で小学生が犠牲になって以降全国で取り組みが進む中、本市では未実施であった補助金制度が創設される。特に、通学路や避難困難、延焼リスクの高い地域での効果を期待。(平成30年12月一般質問答弁、平成31年度当初予算案)

前進！

藤右衛門川流域の 浸水対策

本太・前地地域などでは、藤右衛門川の浸水被害が続いてきており、対策が重ねられてきた。今般、競馬場入り口付近など河床の段差解消工事の予算が、さいたま市、埼玉県ともに計上され、抜本的な解消への対策が講じられる。
(平成31年度当初予算案、平成30年2月まちづくり委員会等)

実現！

感震ブレーカー（通電火災防止機器） への補助制度

大地震の際の火災の主要な原因となるのが通電火災（電気火災）であることが分かっている。その抑止に効果がある感震ブレーカー普及のための補助制度が創設された。(平成28年一般質問答弁等)



➡

感震ブレーカーの製造にあたっては、メーカーのご協力もあって、仕上げの工程をさいたま市社会福祉事業団の福祉作業所にて行っており、障がい者雇用にも貢献する事業となっている。



4年間総まとめ

5

地域経済活性化のために…

地域経済の活性化は、将来の財源確保や雇用創出にとって重要である。
また、商店街は地域の顔であり、コミュニティの中心ともなっている。



実現！

商店街における 防犯カメラの設置、 LED化の推進

安心・安全で快適に買い物ができる環境づくりによって、商店街の魅力の向上や買い物客の満足度や事業者の事業意欲の向上をはかる。



平和通り商店街



浦高通り商店街

前進！

サイクルパークの設置

東日本有数のサイクリストが集う荒川サイクリングロードの利用促進、市内誘導をはかるための拠点施設の整備検討が始まった。自転車利用者のマナー向上のための施設ともなる。(平成30年12月一般質問答弁)

前進！

浦和駅西口 南高砂地区 再開発事業の推進

浦和駅西口においては、南側の交流人口が弱くなっている調査結果もあり、地域全体の商業活性化を図るとともに、県都の顔となる事業として全力支援をしてきた。市民会館うらわの移転方針も示され、跡地利用に関しては、NHKとの協議に入っている。(平成30年2月代表質問他)